

探究通信 ビブリオバトル特集

令和5年10月19日 都立小金井北高校 探究委員会

お疲れ様でした！ビブリオバトル

夏休みの課題として「新書」を読むことから始まった今回のビブリオバトル。ビブリオバトルは、本来、好きな本を自由に選択して行うものですが、探究活動の一環として今回は「新書」に限定しました（それに反して新書以外を選択した人もいましたが…）。それは新書の多くが、様々な研究成果（≒先行研究）の一部だからです。これらを読んで、皆さん独自の課題を考えるきっかけにして欲しいのです。また、学年戦でも述べましたが、昨今の大学入試は多様化し、科目横断的な要素が含まれています。ビブリオバトルを通して、同級生の読んだ新書に少し触れるだけでも、予備知識を得ることができたはず。「承認欲求」（承認論は、なんと哲学者ヘーゲルも論じている！）や「トロツク問題」（マイケル・サンデル教授で有名になった）などなど・・・皆さんはグループ戦、クラス戦、学年戦を通して、複数の本に少しでも触れたのですから、一人で得られる以上の知識を得たのではないのでしょうか???

学年戦を制したのは・・・



D組 松本利久君「スマホ脳」とB組 高島楓海飛君「人は話し方が9割」の2名でした！おめでとうございます！

松本君への投票コメント一例

「話し方が面白く、わかりやすい。cmの後で効果(?)みたいな事をしていた。あえて結論を濁らせていたのでスマホ依存の危険性を強く感じ、読んでみたくなった。」

高島君への投票コメントの一例

「声が大きく伝えたいことがよく分かった。本の内容を学校生活での具体例で伝えてくれたので、その本の面白さや書いてあることが想像できて読みたくなった。」

学年戦に出場してくれた出場者全員が素晴らしい発表でした！

それはこんなコメントからも・・・

「6人全員、本の説明や話し方がすごく上手くて、聞きやすく分かりやすかった。急な質問にも的確にわかりやすく答え、対応していて本当にすごいなと思った。」

「学年戦は順位を決めるのが申し訳ないくらいみんな上手だった。」

「全員がみんなに伝わりやすいよう工夫していて良かったです。自分の発表より内容がまとまっていたり、しっかりしていたのですごかったです。」

「6人とも違うテーマだったけど、全てその本を読みたいと思わせるような魅力が伝わってきました。聞いていてとても面白かったです。」



多く読まれた新書

生徒の皆さんが様々な新書（結果として新書じゃない人もいましたが…）を選んで、読んでくれました。多く読まれた新書 Best5は次の作品です！

1位 『ケーキの切れない非行少年たち』

なんと12人！

2位 『スマホ脳』	8人。学年戦でも紹介されました！
3位 『友だち幻想 人と人とのつながりを考える』	5人
3位 『読書する人だけがたどり着ける場所』	5人
5位 『論破力』	4人

小北の図書館の特別コーナー

現在、学年戦で紹介された新書が校内の1F図書館で展示されています。関心をもった人は是非借りてみてください。



ビブリオバトルへのコメントの一部

- 普段新書を読む機会はあまりなかったが、今回のビブリオバトルで、自分の興味のある本だけでなく、多種多様な分野の新書を知ることができて、たくさんの学びを得られた。新書以外の本でも、ビブリオバトルをやってみたいと思った。また、学年での発表を聞き、代表に選ばれる人は話し方が上手いということに気づいたので、今後の生活で、参考にしたいと感じた。
- 普通の文庫本を読破するのも辛いのに、新書なんてもっての外だと思っていたが、いろんな人の紹介を聞いているうちに自分から読みたいと思う新書ができたのが嬉しかった。
- 高校に入って、朝読書の時間が無くなり全く本を読まなくなったので読書という楽しみながら学習できる文化について改めて良さを感じることができたので、これからも続けてほしいと思いました。
- 話し方の面でとてもやった意味があったなと感じた。人前で話すのが苦手なため大人数を前にしてスラスラと、自分の言葉で紹介できているのがすごいなと思った。このような機会を通して自分も小北のみんなから話し方等学んでいきたいし、視野を広げていきたい。
- 本をじっくり読むための時間が欲しい。自分があまり読もうと思わないジャンルの発表を聞いて「とても面白そう」と思える機会であったのでまたやって欲しい。
- 色々な本への興味だけでなく、「こういう発表の仕方があるのか!」という新たな発見もあったので、2学年でもやってみたいです。
- こうやって台本を使わず、全て自分の頭の中で考えて喋る機会はそんなにないのでとても良い機会だったと思う。それと同時にまだまだその力が弱いなと思ったので日頃から人とのコミュニケーションをもっと大切にしようと思う！
- 自分が今まで知らなかった分野について知れたり、自分が興味あった分野で他の人が調べてくれたお陰でより深められたりして良かった。
- 新書の人を選ぶべきだと思う。
- 発表順をくじ引きで決めてもいいのではと感じた。
- このイベントはすごく面白いのでまたやって欲しいです。
- 知っていることもあったし、何でそうなんねんなどつまみかくなったから本を読んでもみようなど思った

